



司書のすすめる本シリーズ⑩

こんな本が図書館にあるよ

絵：長野ヒナ子

『ゾウの森とポテトチップス』



横塚眞己人／写真・文
そうえん社 2012年

深夜にテレビを見ながら、ポテトチップスをバリバリ食べる。仕事から解放された休前日の夜のお楽しみだったりします。まあ、たいがい油まみれの手を見て、後悔するのですが…。

さて、この油、どんな油が使用されているか、みなさんにご存知ですか？私は、この本を読むまで、意識したことがありませんでした。この油こそが、ポテトチップスとゾウという全くかけ離れたものをつないでいたのです。

この本の舞台は、野生ゾウが生息するボルネオ島です。一見、緑豊かな島ですが、多くの緑はアブラヤシの農園で、自然の森は川沿いにわずかだけ。このことは上空から撮影された写真を見るとよくわかります。

植物油（パーム油）の原料となるアブラヤシは、世界中でいろいろなものに使用されています。そのひとつが冒頭のポテトチップスです。食べもの以外にも洗剤やシャンプー、口紅などがあり、洗剤は石油系のものより環境にやさしいという点が必要を高める要因でもあるようです。エコを意識した結果、逆に自然の森が奪われていく。世の中はとて複雑に絡み合っていることを改めて考えさせてくれる写真絵本です。
(川内 直美)

子ども向けの本



バナナの皮から広がる世界

黒木夏美著 水声社 2010年

バナナの皮を踏んですべって転ぶ。そんな場面、実際に見たことがありますか？ 映画の中で、マンガの中で、古典的なギャグとして使われてきた「バナナの皮」。これを取り上げた本があります。『バナナの皮はなぜすべるのか？』です。

題名はバカバカしいのですが、内容はちっともバカバカしくはありません。第一章（一房め）「バナナの皮で笑うわけ（バナナの皮で滑って転ぶ人を見て、なぜ笑うのか。笑いとは何か？ という内容）」から始まり、「バナナの涙」「バナナの皮の文学史」「バナナの皮がギャグになるまで」と、バナナの皮をめぐるさまざまなことを、縦横無尽に調べています。映像作品の中のバナナの皮、絵画の中のバナナの皮、世界情勢とバナナの皮……。『バナナの皮』をキーワードに、ここまで興味が広がるものなのか、と感じ入りました。

この著者は、インターネットと図書館を駆使して、この本を書き上げたそうです。都筑図書館も、皆さんの調べ物をお手伝いします。ぜひ、ご利用ください！
(高橋宏子)

大人向けの本

ファン倶楽部の…私たちのおすすめ本…

『おいで、一緒に行こう』



いのちを、助けたいだけ！

福島原発20キロ圏内のペットレスキュー 森 絵都 文藝春秋

飼い主の依頼を受けて、避難勧告のため置き去りにされたペットの犬・猫を保護するボランティア活動が続ける女性たちを同行取材したルポルタージュ。「現状を変えていくには、まずはそこにある事実を公にすることだ」と「正しくはなくとも間違っていない」行為のありのままを、ユーモアを交えた軽妙なタッチで描いていく。原発問題に正解はなく、この本もまた考えるための格好の1冊だと思いました。(紀)

『みおつくし料理帖シリーズ』



「ハ潮の香、花散らし、想い雲、今長の森、小夜しくれ、心屋ひとつ、夏の虹」 時代小説文庫 高田郁作 角川春樹事務所 食いしん坊家族のせいでしょう。特に巻末にある小説に出てきた料理のレシピ、殊更嬉しい。江戸時代の神田の御所町町の蕎麦や鶴屋から始まる物語。主人公澤とその周りの人情話、料理を作ることを中心に展開する物語。庶民が味わった、また好んで食したものの、江戸の食文化や 上方の食文化の違いがよくわかる。一難一難克服してはまた挑んでゆく主人公の姿に感銘をうけ澤の応援をしてしまう。軽やかな文章についていってしまいました。時代小説 オモシロイ。(洪)



『アンナのうちはいつもにぎやか』

アティヌーケ作 ローレン・トピア絵 永瀬比奈訳 徳間書店

「アンナ・ハイビスカスは、アフリカの女の子です。」から始まる4つのおはなし。アフリカをイメージする時にありがちな過酷な環境にいる子どもではなく、都会の女の子。大家族で住んでいて、その家族全員がお揃いの洋服を着て出かけることもある・・・わたしたちの生活とは違うけど、とても楽しく幸せな日常が書かれていて、優しい気持ちになる児童書です。(三田)

『ウェブで政治を動かす！』



津田大介著（朝日新書、2012） 津田大介の本をこの欄でお薦めするのは『twitter社会論』に次いで2冊目になります。真の民意を伝え、能動的に政治参加する道具としてのソーシャルメディアの重要性をストレートな文章で語る。当初は「動く」だった書名を「動かす」に変えたとの、あとがきの著者のメッセージも熱い。(わ)



『オオカミの護符』

小倉美恵子著 新潮社刊 川崎市宮前区土橋の筆者の、古い土蔵に貼られていた一枚の護符の謎解きから始まる。かつての関東一円の人々の暮らし方が見えてくる。山々からの恩恵に感謝しながら農耕を営み、人智の及ばないことには、祈った。「感謝」と「祈り」の暮らし。姫田忠義監督の「越後三面・山に生かされた日々」もそうだ。すばらしい文章力の筆者に会いたい。映画もみたい。(千)

図書館で知の旅へ



図：江橋正三

私と図書館 都筑区役所地域振興課 資源化推進担当 塚田 和広

子どもの頃から本を読むのは、好きだったが外を飛び回る元気な子どもで、図書館で本を読んだり調べ物をした記憶は、ほとんどない。

私の図書館の記憶というと、近所にあった青少年図書館に友達との待ち合わせの場所としてや、雨の日の遊び場としてであった。大人になってもからも図書館で借りる本は、子どものために。私の読む本は、専らブックオフで作者と裏表紙のあらずじを見て大人買い。

そんな私ですが、都筑区役所に来てからは、図書館に足を運ぶことが増えた。それは、図書館が区役所内にあるという事と、図書館に開く機会が増えたから。読書応援団の方と出合い、協力して家庭で眠っている本を市民から集め、図書館や小学校の蔵書としてたり、3R夢(スリム)お話し会のイベントを開催したりした。

図書館のことに読書応援団の方が集まり図書館を読む環境を支える。私が知らなかったそれらの活動に加わることができ本当に良かった。

図書館という場は本を読む役割だけでなく、人と本がつながる、人と人もつながる。

システム機器の入れ替え作業では、ごめいわくをおかけしました。都筑図書館HPより



図書情報システムが変わりました！ & 都筑図書館の一般書(大人の本)の並び方が変わりました。詳しくは総合案内窓口へおたずねください。



都筑図書館より行事のお知らせ

都筑図書館 〒224-0032市内都筑区茅ヶ崎中央32-1 TEL:948-2424・FAX948-2432

- 区内の小学生による読書感想画展
～子どもたちが描くものがたりの世界～
区内小学校の子どもたちの読書感想画作品を展示します。
日時：1月11日(金)～1月18日(金)(最終日は16時まで)
会場：都筑区総合庁舎1階区民ホール
- 資料展示 「つづきあい」展
「人と人との であい ささえあい わかちあい」を目指す都筑区の福祉保健活動をご紹介しますとともに、ボランティア関係資料を展示します。
日時：2月4日(月)～2月19日(火)
会場：図書館内
- パネル展示 「図書館はあなたを守りたい！」
健康福祉局こころの相談センターで作成した自殺予防対策のパネルと、関連資料の展示を行います。
日時：3月1日(金)～3月10日(日)
会場：総合庁舎1階区民ホールおよび図書館内
- 定例おはなし会
日程：2月20日(水)、3月27日(水)
(★3月は第4水曜日です)
時間：15:30～16:00
会場：都筑図書館 対面朗読室
対象：ひとりでおはなしをきける子 申込：不要です。直接会場へ

- 「くまさんのおはなし会」
日時：2/14(木)、3/14(木) ※1月はお休みです。
各日◎10:00～10:25◎10:45～11:10※①、②は同プログラム
会場：都筑図書館 対面朗読室
内容：保護者の方と乳幼児と一緒に楽しめるおはなし会です。
対象：2、3歳児および保護者 各回先着10組
申込方法：2/14(木)開催分は1/31(木)から 3/14(木)は2/28(木)から
●各9:30より受付開始。
カウンターまたは電話で申込みください。
- 展示テーマ
児童書：1月「十二支のどうぶつだいしゅうごう」
2月 未定。お楽しみに～！
ティーンズ：1月「始めてみようよ！」
2月「「ラノベ」はいかがですか」
3月「あなたのなやみ みんなのなやみ」
一般書：1月「手づくりをたのしむ」
2月「生誕200年」(仮題)
3月以降は未定です。お楽しみに。
- 施設点検による休館日
2月12日(火)、3月18日(月)

つづき図書館ファン倶楽部通信 vol.38



2013年・新春号
■特集：「林市長さん こんにちは！」
■発行：つづき図書館ファン倶楽部
■住所：〒224-0032 横浜市都筑区茅ヶ崎中央33-1 都筑郵便局留
■電話：TEL・FAX045-532-9903(福富方)
■http://tsuzuki.libraryfun.net/
■年会費：一口1,000円 ■定例会：毎月一回
■つづき図書館ファン倶楽部は
2000年3月都筑区制5周年記念として都筑図書館が「シンポジウム」を開催。参加した区民サポーター有志で図書館の価値を高める目的で結成しました。



林市長さん こんにちは!

11月30日、林市長とのティーミーティングが行われました。高倍率といわれている市長との直接対話の機会は昨年の7月に続いて2度目、中田前市長と併せると4回目となります。当日の参加者は、伊藤・江幡・中村・福富・溝井・三田・吉村・若杉の8人です。市長の理解を確認でき、大きな成果があった懇談会でした。

成果の一点目は学校図書館の活性化です。伊藤さんから今後の学校図書館の活性化に関して、図書館からの支援の「仕組みづくり」を提案しました。そして、学校図書館ボランティアも引き続き協力していくのでその連携ができていく都筑区でモデル的に進めていきたいと話しました。実例として『東出雲発！学校図書館改革の軌跡』を贈呈しました。それに対し市長は学校図書館の重要性について強く感じており、具体的な考えをまとめて市長に提案して欲しいとおっしゃいました。

2点目は横浜丘の手の市民文化センターに図書館機能を複合的に入れる提案です。江幡さんから、横浜北部の「丘の横浜」の地域の特性を説明し、文化・歴史・まちづくりの拠点としてセンター北駅近くの横浜市が保有している文化センター予定地を活用するアイデアを提案しました。参考に、「武蔵野プレイス」などの先例を

説明し、横浜市を4つの文化圏に分けてまちづくりを進める考えを述べました。それに対し市長は、ミナト横浜だけでなく、最近は保土ヶ谷・神奈川・鶴見の「東海道宿場町のウォーキング」なども元気であり、一つの区だけでなくもともと一緒だった「丘のまち」の文化環境も整備する必要がある。しかし財政状況が厳しく老朽化対策も問題となっている。地元の都筑区長に説明をしてみましたらどうかとおっしゃいました。

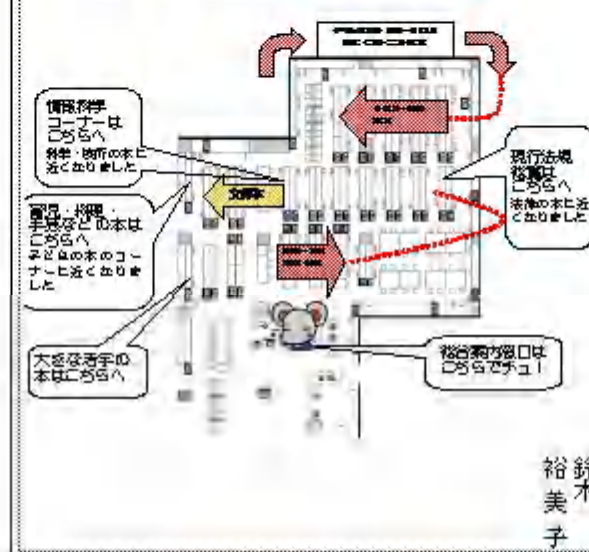
3点目は『図書館のめざすもの』についての理解です。若杉から同書を贈呈し、「アメリカ社会に役立つ図書館の十二か条」を説明しました。読書の好きな林市長は、読書をすることで想像力が刺激を受けることを強調され、電子時代に本を読むことは大切だと、我が意を得たような反応をされました。図書館のミッションについては方向が一致すると意気統合した想いです。

その後、林市長からの提起に応じて「小中学校への学校司書配置について」と「横浜北部に図書館を核とした総合文化施設を」の文書を市長に提出し、また、中村都筑区長との懇談会を12月25日に行いました。閉塞感のある横浜の図書館状況に一筋の光を見出すことができた市長・区長ミーティングでした。(若杉記)

参加者の感想

- 11月10日に急逝した義父の部屋を片付けていたら、市立図書館の本を発見。督促状が来ていたと義姉から聞き、それを頼りに残りの2冊も見つけた。延滞本にはそんな理由がある場合も・・・としみじみ。(紀)
- 最近年のせいか感性が鈍くなっている(一元々鈍いという声が横からあり)。ドキドキワクワクウルウルする本に出会いたい。(わ)
- 最近我が家でいろいろ家電が壊れている。20年使った冷蔵庫は仕方がないが、4年程度の「炊飯器」「電動自転車」「パソコン」まで。パソコンは買ったが、自転車は電池無しで乗り、ご飯は鍋で炊いている。(仁)
- 昨年の大ニュースは、林市長とのティー・ミーティングに当選したこと。これで2回目、中田市長のときも2回当選した。大変な幸運に、暮れにジャンボ宝くじを買ったが、見事に外れた。世の中そんなに甘くはない。(福)
- 私は、現場が好きです。だから、今年も図書館の現場で働き、健康に過ごせますようにと願っています。..amie
- 子供に読んだ絵本にはちょっと怖かったものもあるらしい。わが家の子供はそれを『トラウマ本』とよぶ。「おしれのぼうけん」がそのひとつで、いまだに押し入れの戸にすき間があるとイヤ。ねずみばあさんがホントに恐ろしいそうだ。(吉)
- 未娘が姉、兄をさしおいて 会社都合とかでさっさと入籍を済まし、松が明けたと同時に婿殿は我が家の近くに越してきてしまてんやわんや。行争のたびに総勢23人の親族が集まる様を見て一人息子の婿殿身の置き場に困ってます(洪)
- 昨年末、39℃超えが1週間近く続く風邪をひいた。体力も仕事も家の中もボロボロ・・・今年も、とにかく食べる、寝る、健康第一 (み)
- 今月3人目の孫が誕生した。心臓に大きな障害があって、NICUでたくさんの医師やスタッフに見守られながら育っている。深夜の訪問も許されている「パピ」が明るく報告してくれるのが待ち遠しい。がんばれ、りさ! (千)

このごろの... 都筑図書館 18



図書館情報システムを リニューアル!

新たな年になりました! みなさま、どのよう
な新年をお迎えでしょうか。横浜市立図書
館では、図書館情報システムをリニューアルす
るに予約したい本の情報を百冊までためてお
ける「予約かご」や、本を受け取る順番をご
自身で指定していただくことができるようにな
りました。ぜひ活用ください。
さて、図書館情報システム入れ替えのため
に新年10日まで休館をいたしました。都筑
図書館では、一般書(大人の本)の並びかえ
を行いました。みなさまご存知のとおり、分
類番号をラベル化して本の背に貼り付けて並
べられています。都筑図書館では、途中で急
ぎにラベルの数字が飛んでしまう箇所があっ
たため、利用者の方から「この分類の並びか
えはどこにあるの?」といったお問い合わせを
いただいていた。以前から何となくしたいと
いう思いがありました。今回の休館を活用して
アウト変更となった次第です。できるだけ
数字の順番どおりに並びように整理してい
ます。また、お料理や育児関係の本を見
る際、お子さんとあまり離れず本を運んで
いただけるようになりました。
スペースなどの制約もあり、理想どおり、
というわけにはいかぬ部分もありますが、
少しでも使いやすい図書館に進化できるよう
今年も職員一同、がんばってまいります。

鈴木
裕美子

神奈川県立図書館を見学



10月23日(火) ファン倶楽部のメンバー5名で県立川崎図書館と県立図書館(紅葉坂)の2館の見学に行きました。

川崎図書館は「科学と産業の情報ライブラリー」として蔵書は自然科学、工業、産業に特化した。社史、業界誌、特許、規格など通常公共図書館には無いような資料も所蔵しています。驚いたのはイベントや展示の多さです。サイエンスカフェ、ミニ展示&関連講演会、子ども向けの科学実験教室など年間100回近くに及ぶそうです。

一方、県立図書館は社会・人文系の調査研究型図書館。両館で収集資料を明確に分担しています。県立図書館では市町村立図書館間で資料の相互貸借の仕組み「KLネット」の現場や戦時文庫、ベストセラーズ文庫、音楽資料や古い児童書など珍しい資料を見せていただきました。

しかし、もったいないことに、こうした両県立図書館の蔵書や機能はあまり知られてはいけません。さまざまな方法で広く県民に公開・発信し、さらに充実して欲しいと思いました。 若杉隆志

つづきっ読書応援団 (TDO=つどおう)は...

「都筑区の子どもの読みたい気持ち・知りたい気持ちを高める」を目的に、3部会で活動しています。

《学校部会》
【第2回都筑区学校図書館ボランティア大交流会】11月17日開催。参加者は、56名で、都筑区内小学校22校中19校もの参加となりました。

《企画部会》
1月25日(金)10:30~11:00「つどおう JiJi-BaBa隊」による「おはなし会」が北山地区センターで始動しました。今後当面は隔月で、3月22日、5月24日の予定です。

《勉強部会》
★11月5日読み聞かせの講習会受講生対象の勉強会を立ち上げました。今後月に1度、図書館司書の読み聞かせやロングセラー絵本の勉強等をしていきます。

★わらべうた講習会(冬バージョン)
12月日都筑区在住の石川道子先生に季節ごとのわらべうたを教えていただく4回連続講座の1回目。申し込みもすぐ定員に達し、先生の楽しいお話を聞きながら、たくさん体も動かししました。今後の予定は2月7日(春バージョン)、4月18日(夏バージョン)6月20日(秋バージョン)すべて会場は、かげはし都筑で行います。

★絵本をとらえて見る世界
~アフリカの絵本と多言語おはなし会~
1月27日つづきMYプラザの主催で行われます。1つの絵本を日本語、英語、アフリカンス、スペイン語、中国語、ポルトガル語という多言語で読みかきかせるほか、アフリカの絵本の読み聞かせやブックトーク、ナイジェリアのこどもの遊びなどが行われます。キヤラパンとして、2月16日川和小コミュニティハウス、3月10日つづきMYプラザでも行う予定です。

《企画部会》
1月25日(金)10:30~11:00「つどおう JiJi-BaBa隊」による「おはなし会」が北山地区センターで始動しました。今後当面は隔月で、3月22日、5月24日の予定です。

《勉強部会》
★11月5日読み聞かせの講習会受講生対象の勉強会を立ち上げました。今後月に1度、図書館司書の読み聞かせやロングセラー絵本の勉強等をしていきます。

《お知らせ》「横浜3R夢 図書募集」
3月17日(日)「つづき人交流フェスタ」にて都筑区役所地域振興課・都筑図書館・都筑図書館ファン倶楽部の協力により、不要になった子どもむけの、リユース本を集めます。図書館の蔵書・学校図書室・市民利用施設の図書コーナーなどで活用します。(三田)

つづき図書館
ファン倶楽部
メンバーの
ココロ
no
ココロ